

2014-04-21

シグマテック株式会社

トップランナーモータ採用時のご注意

トップランナーモータは、発生損失を抑制しているため、標準モータに比べ一般的に回転速度が速くなります。標準モータを高効率モータに置き換えた場合、この回転速度が速くなることにより、モータの出力が増加します。

モータ効率は高いのですが、出力が増加することにより、消費電力が増加する場合があります。

また、銅損低減のためモータの巻線抵抗を低くしており、始動電流・始動トルク・停動トルク（最大トルク）が標準効率モータに対して増加します。

モータ慣性も標準モータに比べ大きくなっております。

そのため、ブレーカなどの周辺機器の変更や、始動・停止頻度が高い場合や慣性モーメントが大きい場合には、ブレーキ寿命を含めサービスファクターを見込んだ検討、確認が必要になります。